

各 位

平成 28 年 9 月 7 日

株式会社ビーマップ

個人投資家向け会社説明会 説明資料

このたび、当社は平成 28 年 9 月 7 日(水)に日本証券アナリスト協会の主催により、個人投資家向け会社説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

■目的

個人投資家向け会社説明会を通じて、より多くの個人投資家に当社を知っていただくことを目的としております。

説明会では、当社の事業概要と中期計画についてご説明させていただきました。

■概要

開催日時： 平成 28 年 9 月 7 日(水) 13:35 ～ 14:25

会場： 東京証券取引所ビル 6F

ご説明者： 代表取締役社長 杉野 文則(すぎの ふみのり)

※ 次頁以下に当説明会で配布した資料を掲載いたしましたのでご覧下さい。

以 上

株式会社ビーマップ 会社説明資料

2016年9月

株式会社ビーマップ

4316

BeMap Confidential Proprietary

- 会社名 株式会社ビーマップ
- 所在地
 - ・本社 〒101-0047
東京都千代田区内神田2-12-5
内山ビル4F・5F
 - ・福岡事業所 〒812-0044
福岡県福岡市博多区千代4-1-33
西鉄千代田県庁口ビル 3F
- 創立 1998年9月4日
- 資本金 918百万円
- 株式数 3,210,800株
 - (うち自己株式972株)
 - (1単位 100株)
- 役員 8名
- 従業員 74名 ※2016年4月1日現在
- 加盟団体
 - ・一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)
 - ・日本鉄道サイバネティクス協議会 (一般社団法人日本鉄道技術協会特定部会)
 - ・無線LANビジネス推進連絡会
- 役員
 - 代表取締役社長 杉野 文則
 - 取締役 大谷 英也
 - 取締役 川内 武
 - 取締役 岩渕 弘之
 - 常勤監査役 小山 信行
 - 監査役 小林 義典
 - 監査役 小林 弘樹
- 主な取引先
NTTブロードバンドプラットフォーム、
その他NTTグループ各社(NTTルパルク、NTTドコモ、NTT東日本他)、
ジェイアール東日本企画、
日本テレビ放送網、テレビ朝日、毎日放送、
ヤフー、味の素、デンソーコミュニケーションズ、
ゼンショーHD、三光マーケティング他

BeMap Confidential Proprietary

ビーマップの事業ドメイン

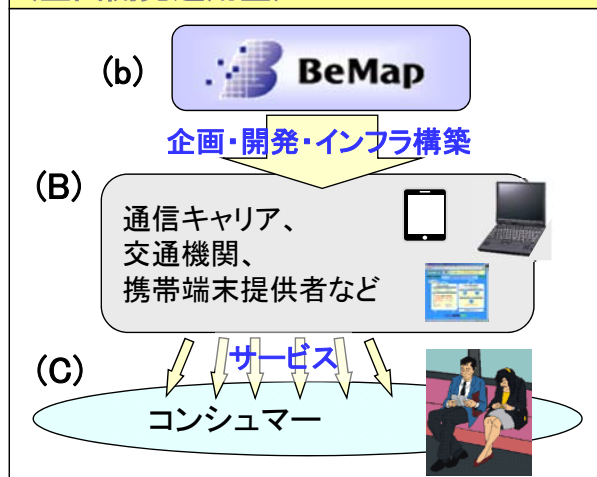
- ・多種多様なモバイル端末へのコンテンツサプライを可能にするソフトとサービスの提供。
- ・放送、生活動線、通信、モバイルを活用した創客ビジネスの提供。

Best Mobile Application Producer

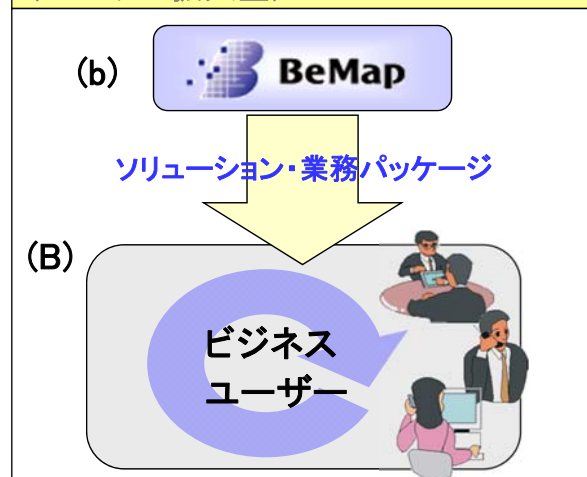


2タイプのビジネスモデル

btoBtoC型ビジネス (企画開発運用型)



btoB型ビジネス (ユーザー拡大型)



分野別事業内容紹介

ビーマップの事業分野

事業セグメント	事業分野	業務内容	事業展開状況
ワイヤレス・イノベーション	無線LAN配信 インフラ構築	ー無線LANホットスポットにおけるコンテンツ 配信インフラを開発・提供するサービス、 業務用パッケージ	ースマートフォン等無線LAN機器の普及で 事業拡大を目指す
ナビゲーション	交通関連	ー鉄道等交通機関の乗り継ぎ(経路探索) 技術の提供 ーJR東日本予約サイト(えきねっと)へのシス テム提供・運用保守	ー「えきねっと」を中心とした開発・運用 ーWi-Fiとの連携により横展開
ソリューション	監視録画システム	ーカメラ付携帯電話への画像転送シス テムの開発・運用保守 ー遠隔カメラ監視のASPサービス	ーモニタリング倶楽部を営業展開
	TVメタデータの ASP事業	ーTV番組メタデータのASPを構築しbtoB への展開はかる	ーテレビ局、広告代理店、PCメーカー、 ECサイト等へ提供。テレビ局との事業 も拡大
	コンテンツプリント サービス (こんぷりん)	ーアイドルやキャラクターなど、さまざま ジャンルのカレンダーやブロマイドをコン ビニのコピー機で手軽に購入できるサー ビス	ー全国のコンビニ(サークルK、サンクス、 セブンイレブン、ファミリーマート、 ローソン)にてサービス提供中
	通訳サービス (J-TALK)	ーiPhone/iPad・Android対応の顔が見える クラウド型 同時通訳サービス	ー2015年10月より「J-TALK Business」、 2015年12月より「J-TALK Travel」を提供 開始

※従来のクロスメディア事業部を、第19期より「ワイヤレス・イノベーション事業部」に改称いたしました。

ワイヤレス・イノベーション事業

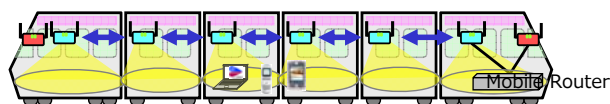
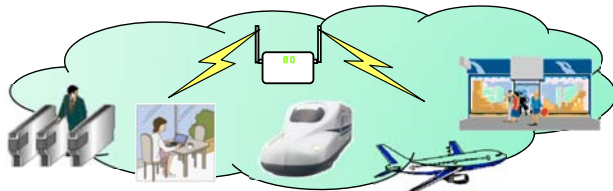
※従来のクロスメディア事業部を、第19期より「ワイヤレス・イノベーション事業部」に改称いたしました。



ワイヤレス・イノベーション事業の内容①

ビーマップ 無線LAN 関連事業

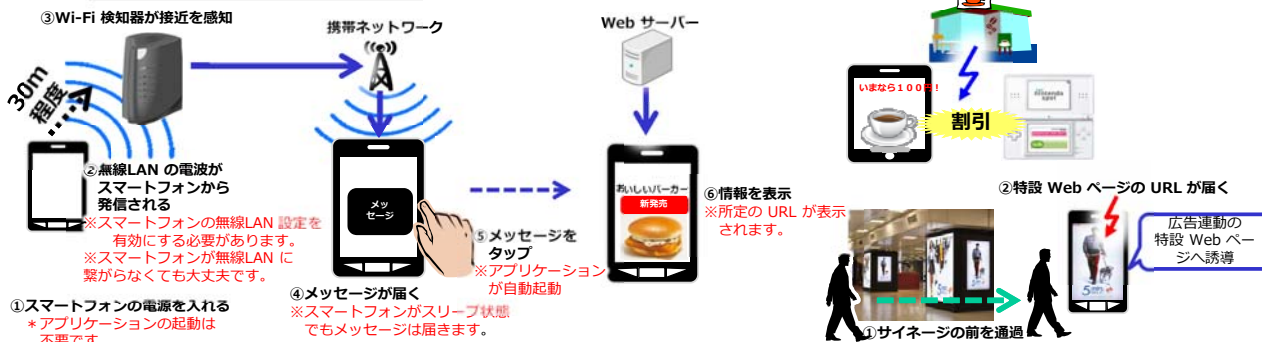
- 無線LANのプラットフォームの企画、開発、運用。無線LAN APを通した、情報配信の提供。
- 人口集中地域における通勤・通学手段としての鉄道会社、コンビニ・レストラン等を通してコンテンツの配信を行う。通信事業者、鉄道事業者他を通して展開。



つくばエクスプレス、新幹線では列車内でも提供

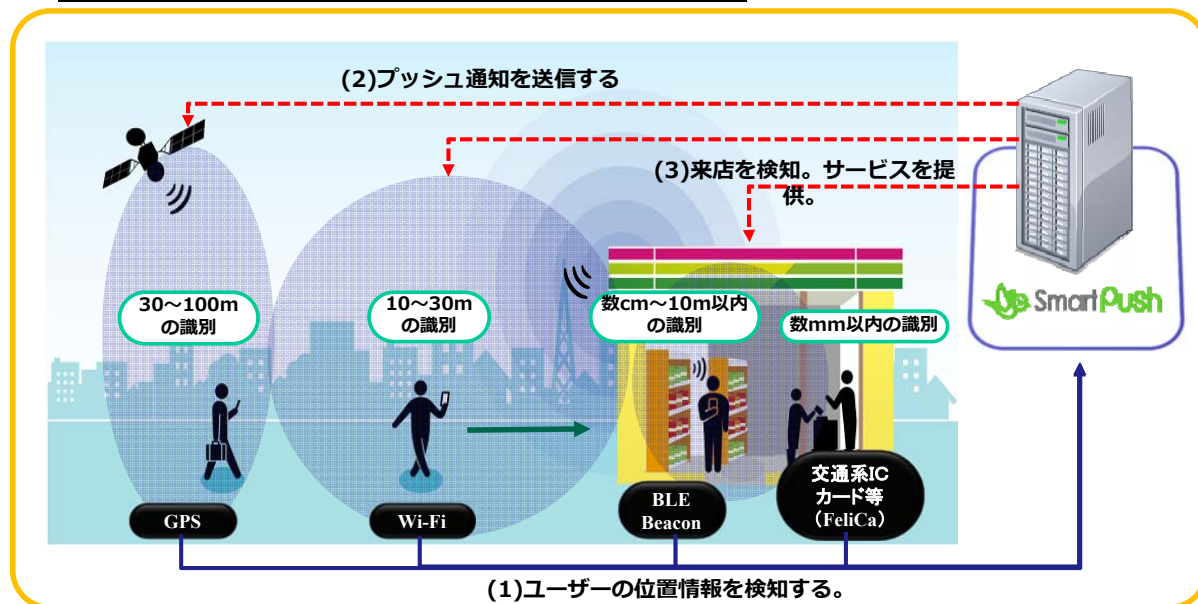
※無線スポットは駅周辺から航空機・列車内・コンビニ・外食にて展開

■ 無線LAN を活用した Push 型コンテンツ配信システム



G P S / Wi-Fi / Beacon / NFC (Felica) を複合的に活用できる
サービスプラットフォームを提供

- GPS/Wi-Fi/Beacon/NFC (Felica) 等、様々な位置情報、配信に関する技術を複合的に連携させながら提供できるプラットフォームを提供可能。



ナビゲーション事業

ナビゲーション事業
事業概要

- 経路探索ソフト トラベルナビゲータの技術・ノウハウをベースにした
 - ・JRインターネット予約サイト「えきねっと」の構築・運用
 - ・駅周辺ビジネス、列車内サービスの企画・構築・運用
 - ・交通系ICカードを活用したサービスの企画・構築・運用

えきねっと

JR東日本の列車予約サイト
「えきねっと」向け開発


交通系ICカードを活用したビジネス

駅・列車内ビジネス

送客・創客ビジネス

J R 東日本アプリ、B R T 等での実績

ビーマップ創業の1998年から17年間、JR東日本グループの経路探索、モバイルに関わるサービス、Wi-Fi、送客システム、駅ナカなど様々なサービスをお手伝いさせていただいております。

J R 東日本アプリでの残高確認

BRTでの時刻表、運行情報

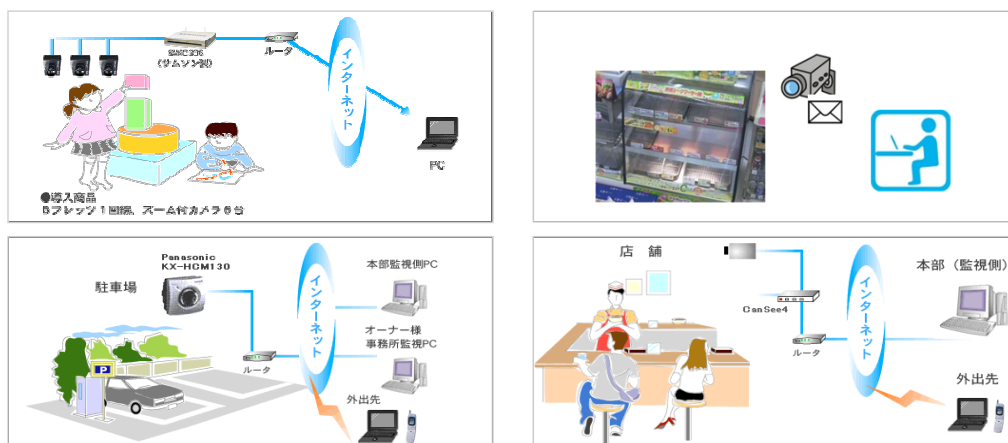

ソリューション事業

モニタリング

事業概要

- インターネット／ウェブカメラを活用し遠隔地を監視するシステムを提供。
大手飲食店、コンビニ等へ導入。
- 監視から、画像解析により店舗ソリューションへ展開。商品陳列、商品の欠品を自動解析し
ビジネスチャンスのロスを減らします。

モニタリングイメージ図



-TVメタデータ-

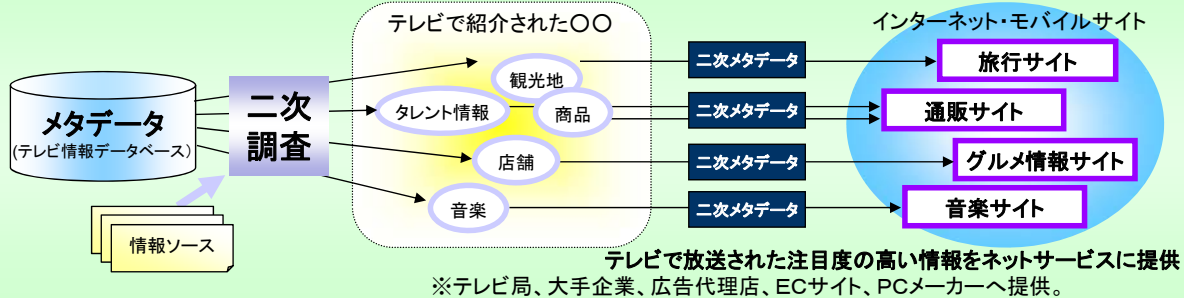
■ テレビ番組の放送内容をテキストデータベース化

テレビから発信される膨大な情報を即座に検索できる、世界で唯一のサービスを提供

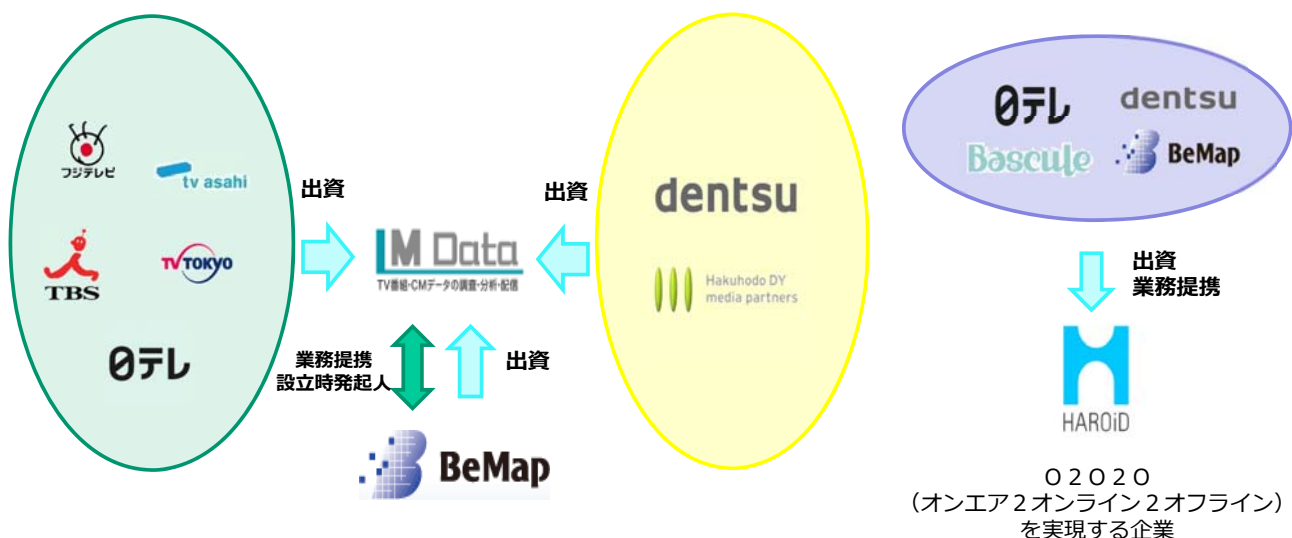


■ テレビの情報を再編集し提供 ⇒ ネットとテレビの融合を加速させる「二次メタデータ」

テレビの情報を様々な角度から再編集



テレビ関連出資に関して当社の立ち位置



コンビニのマルチコピー機を活用したコンテンツプリントサービス

- ビーマップは、コンテンツのプラットフォームとして、コンテンツ集めからシステム開発、コンテンツ編集、配信までを行っています。



共同事業体として 告知プロモーション・イベントの実施

こんぷりんWebサイト <http://www.conprin.com/>

コンテンツ事例

- AKB48/乃木坂46(期間限定企画)
- グラビアカレンダー
- 漫画キャラクターカレンダー

もう外客対応で困らない！必要な時、必要な分だけ利用できるクラウド型 同時通訳サービス

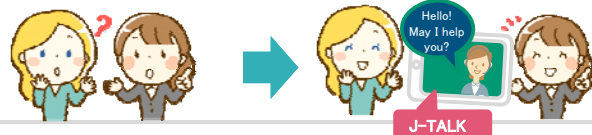
- 「J-TALK」は、iPhone/iPad/Android対応の顔が見えるクラウド型同時通訳システムです。



困ったらアプリをポンと起動！いつでもどこでも すぐつながる

何を言っているのか分からない…
言葉が分からず伝わらない…

こんな時は「J-TALK」に接続！
いつでも通訳してくれる！



利用者画面イメージ



<J-TALK対応機器>

- ① iPhone/Android
タブレット端末もしくはスマートフォン
※Androidは 近日中の対応予定
- ② インターネット回線
(無線LAN回線、または4G・LTE回線)

他社の通訳サービス

コールセンター方式

つながりにくい 料金が 高い

@コールセンター

- 一か所に集まって、通訳サービス提供
- 深夜対応でコスト増、原価増
- 繁盛期はつながりにくく、閑散期の通訳者確保のためのコスト増
- 結果、料金が高くなり、閑散期は体制維持困難

J-TALKの通訳サービス

コールセンター方式 **在宅バイリンガル方式**

@J-TALKコールセンター @HOME @学校 @出先

二重方式で余計なコストがかからない

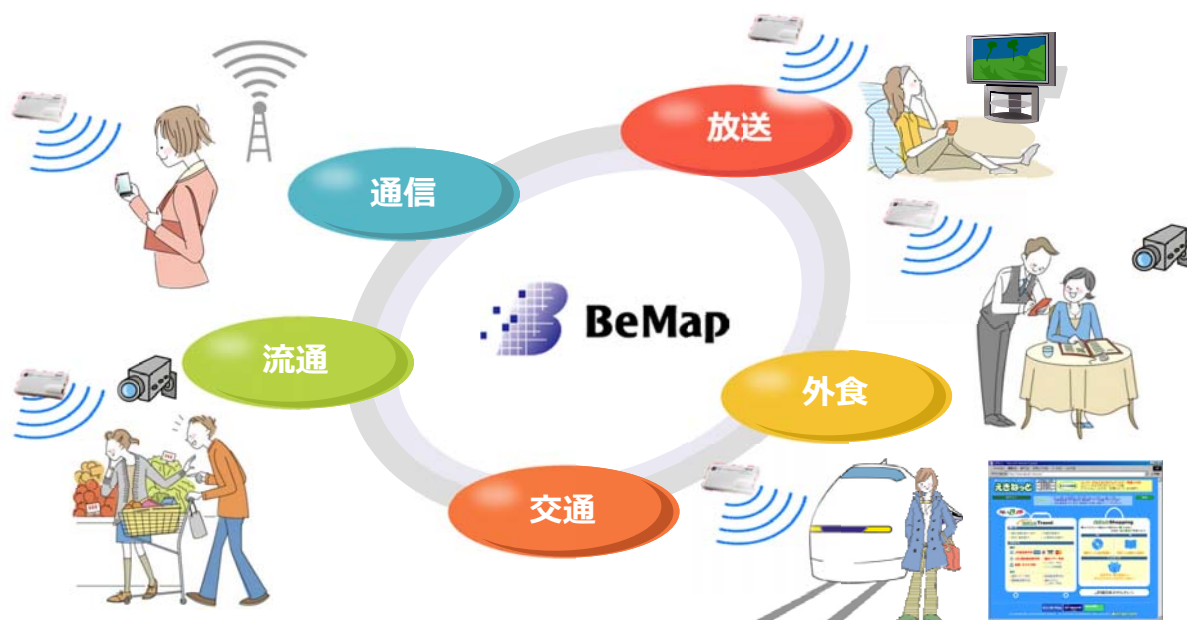
つながりやすい 料金が 安い

- 一か所に集まらず、遠隔で通訳サービス提供
- 通訳者の評価システムで料金を抑える（能力のある主婦、学生層を雇用）
- 自宅にいながらにして通訳の仕事ができるので、多くの通訳者が待機状態にあり、繁盛期もつながる

ビーマップの新しい取り組み

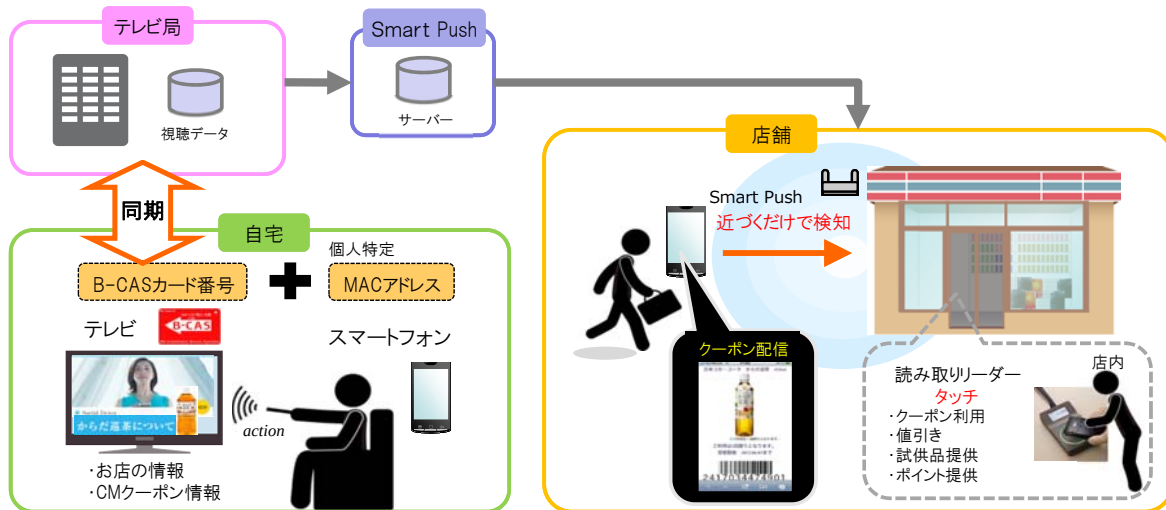
ビーマップ 事業カバーエリア

ビーマップは、交通、通信、放送、流通、外食と社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。



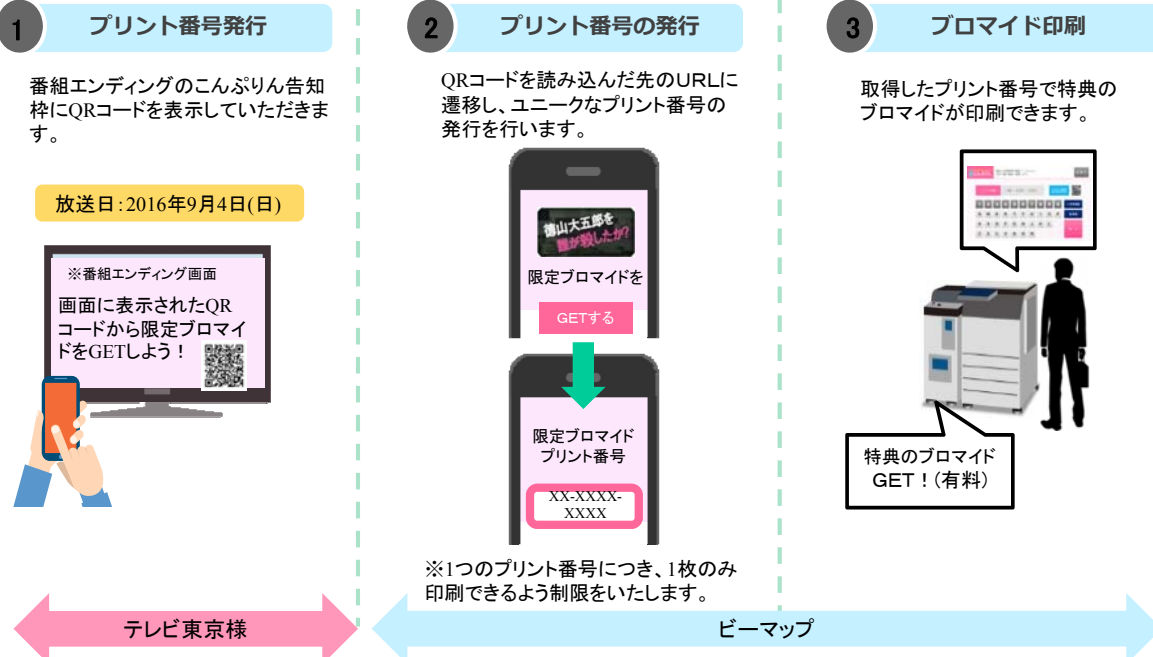
テレビ視聴とWi-Fi・交通系ICカードを活用したサービス

家庭内のテレビの視聴データと、お手持ちのスマートフォンを事前登録で紐づけておくことで、テレビで放送された番組やCMなどの情報にアクションしておくことにより、スマートフォンを持った状態で店舗に近づいただけでクーポンやお得なサービスが自動配信されます。

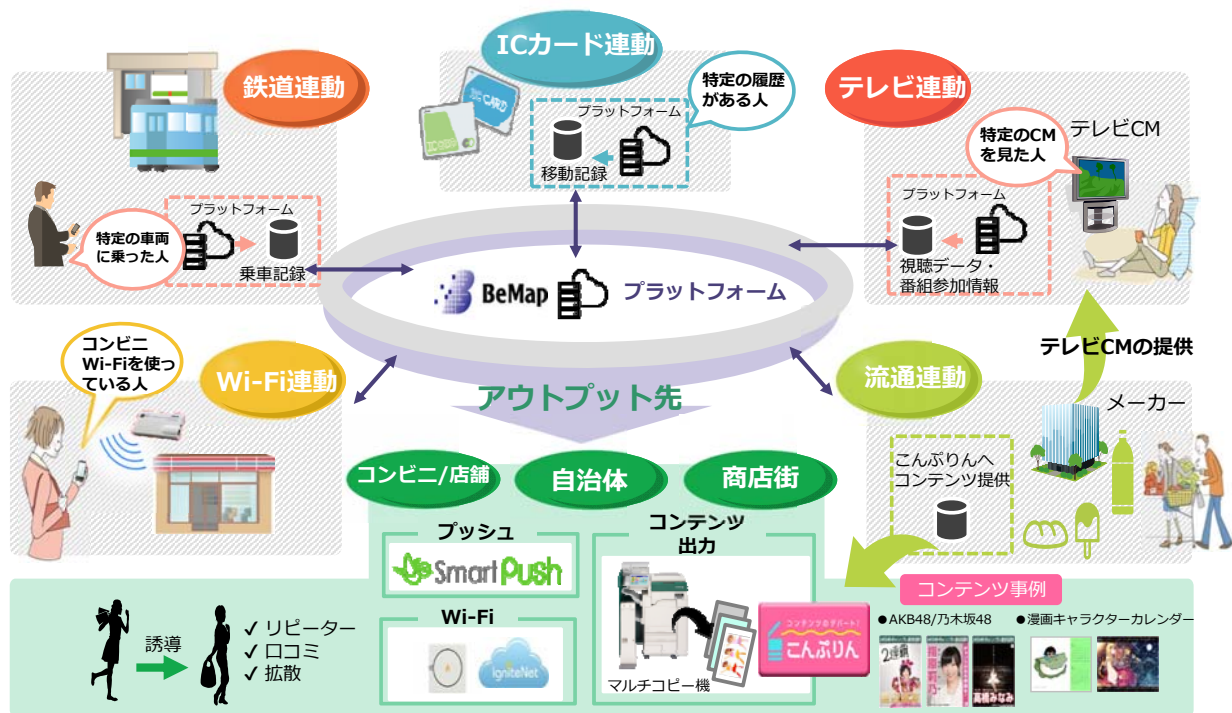


テレビ東京でのO2O20

日本で初めてのテレビとコンビニシステムの連携



ビーマップのソリューション一覧



2017年3月期（第19期）の見通し と中期経営計画



	2015年3月期 (個別)※	2016年3月期 (連結)	増減	前期比
売上高	1,283	858	△425	△33.1%
営業利益	35	△186	△221	—
経常利益	37	△197	△234	—
当期純利益	3	△241	△244	—

※2015年3月期の値につきましては、ご参考値として個別決算の数値を記載しております。

主要トピックス

- 1) 売上高の減少および新規事業の初期費用・運用費用が響き、営業損失を計上
- 2) 福岡事業所開設
- 3) コンビニ向けコンテンツプリントサービス「こんぷりん」を開始
- 4) 子会社「株式会社こんぷりん」設立(連結決算へ)
- 5) 株式会社HAROiD(ハロイド)への出資
- 6) 同時通訳サービス「J-TALK」(ジェイトーク)の提供開始
- 7) 「訪日外国人対応パッケージ」の販売開始



	2015.6	2016.6	増減	前期比
売上高	254	266	+12	5.0%
営業利益	△38	△41	△3	NA
経常利益	△37	△41	△4	NA
四半期純利益	△30	△41	△11	NA

売上については、ワイヤレス・イノベーション事業において計画を上回ったものの、ソリューションで計画の半分以上となり、全体で微増にとどまった。費用については、J-TALKなど独自事業の運用費・販売費が負担となり、損失が拡大した。今後は、J-TALKなど独自事業の売上増により費用をカバーしていく。

主要トピックス

- 1) 株式会社jekiインタラクティブ・コミュニケーションズをjekiらと設立
- 2) 平成28年熊本地震の被災地域において通訳サービスを無料提供
- 3) 「カメラのキタムラ」にて「こんぷりん」のコンテンツを提供開始
- 4) Accton社の無線LANアクセスポイント「AC750」の販売開始

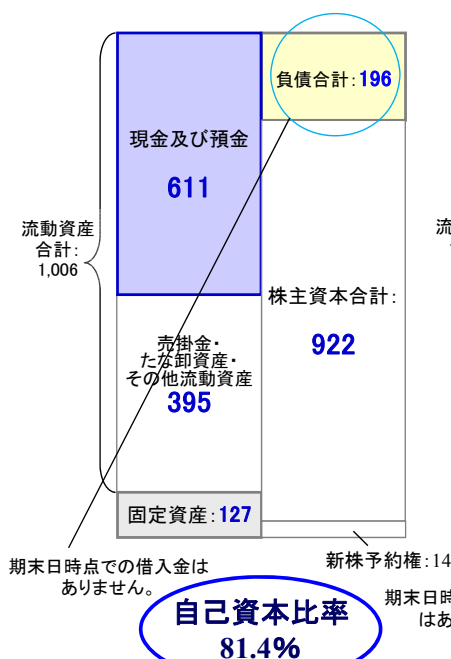


BeMap 貸借対照表の推移

※ 2015.3期につきましては、ご参考値として個別BSの数値を記載しております。

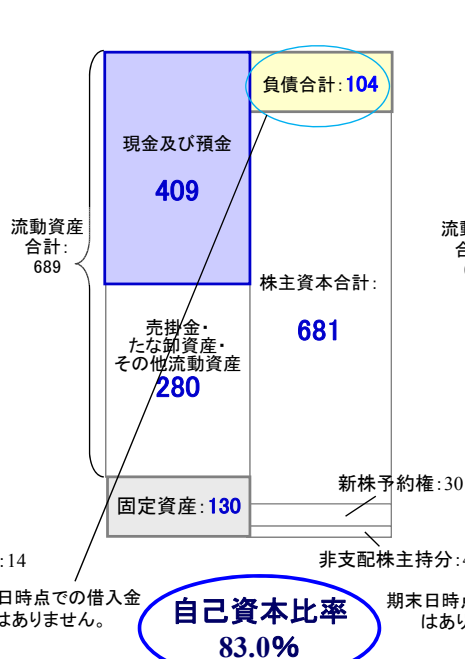
2015.3期(個別)※

資産合計／負債純資産合計: 1,133



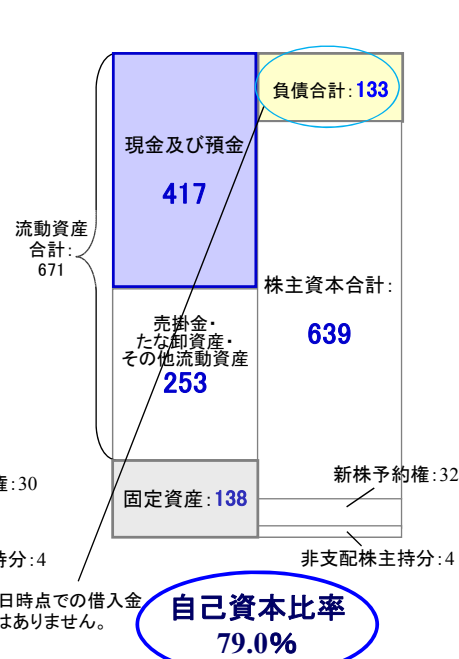
2016.3期(連結)

資産合計／負債純資産合計: 820



2017.3期第1四半期(連結)

資産合計／負債純資産合計: 809



BeMap Confidential Proprietary

26



BeMap 2017年3月期通期・中間期の連結業績予想

(単位: 百万円)

	2016年9月 中間期 連結業績予想	2017年3月 通期連結予想	前期実績	前期比
売上高	480	1,100	858	+28.1%
経常利益	△20	+10	△197	—
純利益	△20	0	△241	—

売上高	ワイヤレス・イノベーション事業分野は市場環境が改善されているものの不透明。各事業分野での新規サービスの収益拡大に注力。特にJ-TLAKは契約数の拡大により収益改善の余地が大きい。全体として、可能な限り2015.3期の数値(1,283百万円)に近づける。
営業利益 経常利益 純利益	製造原価: 運用/ASP等は利益率向上の見込み。開発等は保守的に想定。販売費・一般管理費: 人員増に伴う固定費増を考慮。出資先を含めた人員交流により抑制に努め、一定の利益確保へ。
リスク	当社独自事業の売上拡大の遅れ。運用費・販売費の増加。

BeMap Confidential Proprietary

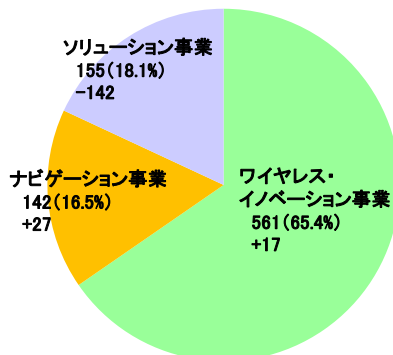
27



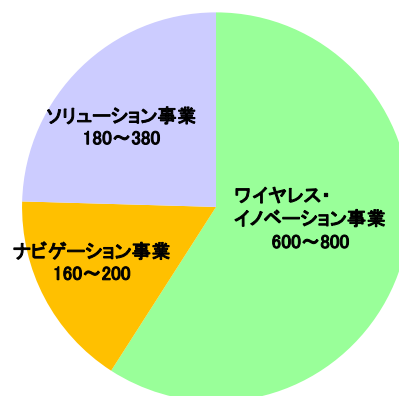
BeMap 事業セグメント別売上構成比(見込み)

ワイヤレス・イノベーション事業が売上の大きな割合を占める予定だが、ソリューション事業を中心に引き続き当社独自事業に注力する。

2016年3月期
売上合計858百万円



2017年3月期(見込)
売上合計1,100百万円



対比

※従来のクロスメディア事業部を、「ワイヤレス・イノベーション事業部」に改称いたしました。

事業分野名称
売上高(構成比率)
セグメント利益
(単位:百万円)

BeMap Confidential Proprietary

28



BeMap 中期3カ年の経営目標

(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	2018年3月期 目標	2019年3月期 目標
売上高	858	1,100	1,150	1,200
ワイヤレス・イノベーション	561	600~800	650~850	700~900
ナビゲーション	142	160~200	170~220	180~240
ソリューション	155	180~380	180~400	180~450
営業利益	△186	10	20	30
経常利益	△197	10	20	30
当期純利益	△241	0	10	20

ワイヤレス・イノベーションについては、2020年を見据えた設備投資と、当社独自製品(車載サーバ、小規模無線LANパッケージ)の成長により事業規模の拡大を見込む。
ナビゲーションについては、えきねっと・ICカード関連で着実に収益を獲得する。
ソリューションについては、柱となる事業の確立のため、今後も積極的に展開していく。

BeMap Confidential Proprietary

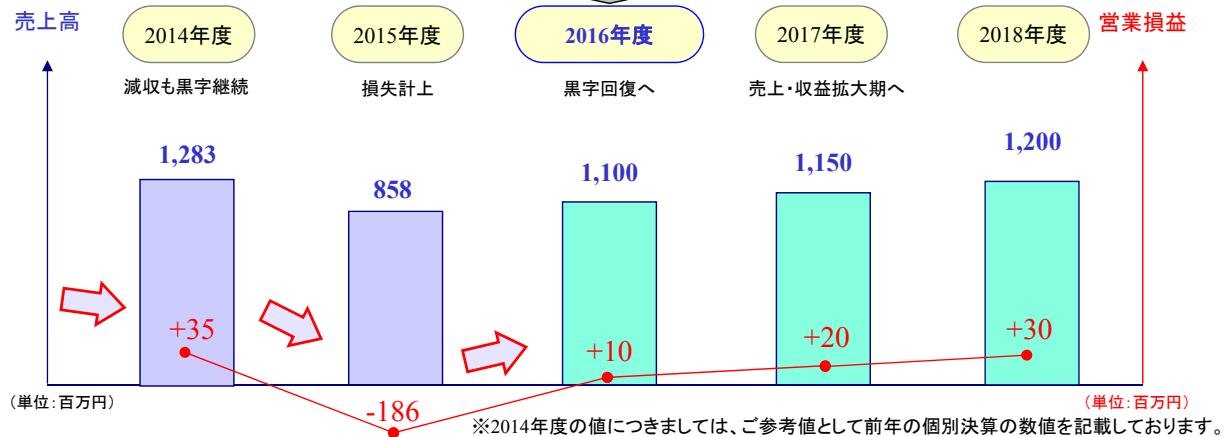
29



2016年度＝黒字回復を最優先課題として取り組む
 その中で、新規事業、特に運用・ライセンス形態の強化を図る

前年度の反省を踏まえ、
 受注増・高品質・高利益率を追求する取り組み

- ・受注増に向けた顧客に対する営業力強化
- ・安定した利益確保に向けた人員スキル向上
- ・工程・品質管理の徹底、開発スタッフの効率的活用
- ・サービス、ライセンスを中心とした収益モデルへ

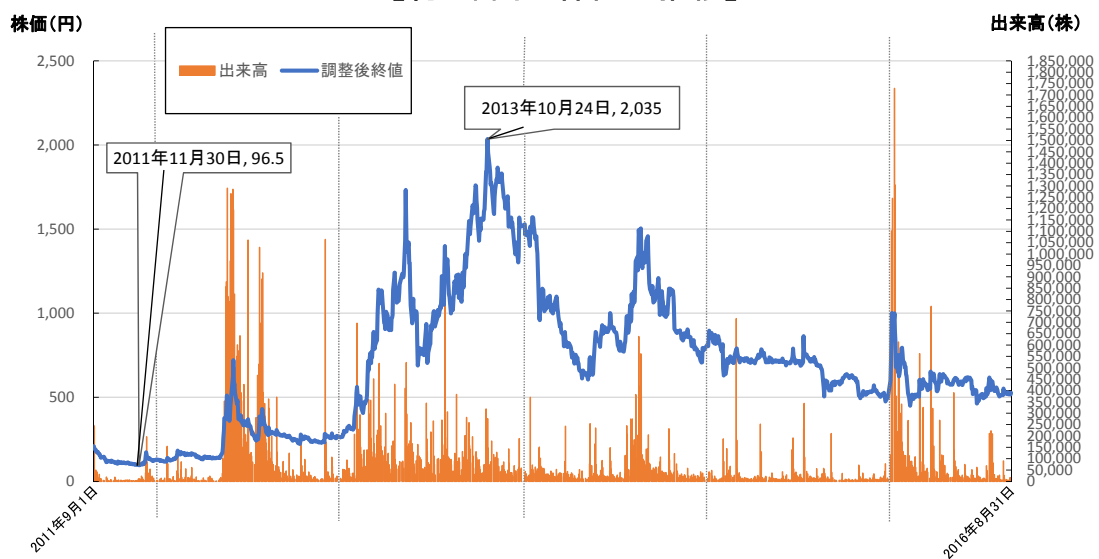


BeMap Confidential Proprietary

30



【約5年間の株価の推移】



※当社は、2013年5月14日の取締役会決議により、2013年10月1日を効力発生日として、当社普通株式1株を100株に分割いたしました。株価及び出来高につきましては、分割後に換算して表記しています。

【主要財務データ】

時価総額(2016/8/31)	1,688百万円
発行済み株式数(同上)	3,210,800株
PBR(同上)	2.64倍
EPS(2016/3期)	△75.13円

総資産(2016/3期)	820百万円
純資産(同上)	716百万円
自己資本比率(同上)	83.0%
配当/配当利回り	—/—

BeMap Confidential Proprietary

31

本資料は、当社の事業、業績等を説明する為の参考資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

この資料に掲載されている見通し、その他今後の予測・戦略などに関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えなれるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送などを行わないようお願い致します。

本資料に対するお問い合わせ

株式会社ビーマップ
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-12-5 内山ビル4F・5F
経営管理部 IR担当（大谷）